

モナコとフランス語の関係

4班



①モナコの概要



- ・人口: 37,800(2014)
- ・面積: 2.02km²
- ・首都: モナコ市
- ・最大都市: モンテカルロ
- ・公用語: フランス語
- ・宗教: カトリック

- ・84%が外国人
フランス国籍47%
イタリア国籍16%
その他21%

②今使用されている言語part1

- ・モナコ語

1976～8歳から14歳の教育に導入される
フランス語とイタリア語の中間のような言葉
モナコ人のアイデンティティーの維持に使用
古い道路標識などに使用

- ・フランス語
TV、新聞
公用語



◀ フランス語

◀ モナコ語

の道路標識

②今使用されている言語part2

- ・英語

ホテル、観光地でみられる

個人所得税ゼロ、きれいな景色、カジノ

→富裕層の外国人流入

→英語が使われる

- ・イタリア語

ラジオ、地名(ex. モンテカルロ)

イタリアの支配下にあった

③植民地の歴史part1

- 1297 ジュノバ内戦でギベリン(皇帝派)とゲルフ(教皇派)が争い、ギベリンに占領されていたモナコの要塞をフランソワグリマルディが占拠
- 1346 マントン取得
- 1355 ロクブリュヌ取得
- 1512 フランスの承認
- 1524～ スペインの支配
- 1641 フランス王ルイ13世の保護下(ペロンヌ条約)
フランスの保護下
- 1793 フランス革命軍がモナコを占領 フランスに編入
フランス支配
- 1815 ウィーン会議 イタリアのサルディーニャ王国の保護下



③植民地の歴史part2

1861 シャルル3世、マントンとロクブリュヌ(領土の95%)を
フランスに割譲

見返りにモナコ公国の主権回復

1918 フランス・モナコ保護友好条約

フランスの保護下

1940 イタリア軍がモナコ占領 ファシスト政権を樹立

1943 ナチスドイツ国防軍が占領

1945 連合国がモナコの独立を承認

1993 国連加盟

2005 フランス・モナコ友好協力条約

フランスの保護下

④なぜフランス語が公用語なのか？

- 地理的要因
フランスとモナコは隣接している
- 歴史的要因
モナコはフランスに占領されており、現在も保護下にある



モナコは常にフランスの影響を受けている

おわり